



こんにちは教育委員です

発行:今金町教育委員の会
〒049-4393 北海道瀬棚郡今金町字今金48−1
TEL:0137-82-3488【No.82】H22(2010).10.19
E−mail:mitsuhiro.nakajima@town.imakane.lg.jp

「へき地・小規模校教育実習」終了

～北海道教育大学へき地教育研究センター連携事業～

平成１８年度からスタートとした教育大学の実習生の受け入れも今期で５年目を迎えることとなりました。当初は、窓口となるへき地教育研究センターは岩見沢校にありましたが、教育大学の機構再編により現在は、釧路校に所在しています。当初は、町内の複式校も６校でしたが、現在は美利河小学校と種川小学校の２校で実施しております。今年は、９月中に札幌校から９名の学生が美利河小学校（３名）、種川小学校（６名）の複式校で将来の教員を目指して実習が行われました。



また、本町ではこの実習に参加した学生を本町の複式校に新採用教員として人事配置した実績もあります。



へき地教育センターでは、北海道の地理的な環境（東北６県もしくは中・四国・九州を合わせた広大な土地を有し、その７割以上が過疎地域に指定）と北海道の学校数の５５％を占めるへき地・小規模に展開できる教員の養成を目指し、地域と共に学び、地域の特性を生かす力量をもつ教師の育成に努めていることから本町としても今後も支援していく所存であります。

教育大学との連携会議開催

本年度２回目となる教育連携会議が１０月５日教育大学札幌校で開催され、８月にクアプラザピリカを会場に実施された今金町まなび・生活習慣改善プロジェクト「あそび」と「まなび」のどきどきサマーキャンプ評価が行われ、今後開催を予定している通学型のプロジェクト事業へどう繋ぎ、子どもたちの学びの習慣化や保護者のかかわりなどについて、鹿内教授からの助言やゼミ学生との意見交換が行われ実施にむけ、大学（指導に係わる学生）と町教委で具体的な準備を進めることで合意しました。



また、今回はご縁ができた教育大学札幌校の尾関俊浩准教授が第５２次南極観測隊員として１１月下旬に成田空港を出発し、豪州で観測船「しらせ」に乗船して南極へ向かうことになっていますが、南極での研究成果や実体験を本町の複式校（種川小学校・美利川小学校）の児童を対象とした「南極教室」の実現に向け打ち合わせ会議を実施しました。具体的な取り組みは、尾関准教授が帰国後の平成２３年度の事業として取り組むことが最も効果的な授業となることなど、今後両先生の助言をいただき準備を進めていきます。



〔連携会議出席者〕
教育大学札幌校
鹿内信善教授、尾関俊浩准教授、ゼミ学生６名
今金町関係者
中島教育長、坂田種川小学校長、小林次長
白岩社会教育主事

せたな警察署職員教養セミナー
～開かれた警察をめざして～

平成２２年度せたな警察署職員教養セミナーが９月２７日(月)、せたな警察署研修室において開催されました。数年前から職員のスキルアップと地域を知り地域に開かれた警察をめざすことを目的として開催されています。



今回は、ご縁があり昨年に引き続き講師をお引き受けました。昨年は、「地域に開かれた行政を目指して」がテーマでしたが、今回は「公務員モラル」と「今金町特別支援教育推進チーム」についてお話をしました。全体の奉仕者という点では、警察官も地方公務員も教職員も共通していますし、「人が好きである」という共通要素や特に、モラル面では住民や保護者が求める教職員像、職場内の人材育成、近年の時代背景から特に必要な能力・資質（保護者・住民対応、管理職の危機管理）について現状や課題など期待も含めて話させていただきました。せたな警察署は、地域に出かけての交通安全教室や学校での安全教室など日頃からお世話になっていま



すが、熱心に受講される署員のみなさんの姿勢に触れることができ私自身も貴重な時間となりした。

委員リレー寄稿「歳時記」



今月は、平井委員長職務代理です。

再任にあたって

今般、図らずも、外崎町長の御推挙と町議会の御同意を経て、平成２２年１０月１日より教育委員に再任いただきました。何分にも微力非才の身ではございますが、任命いただいたうえは鋭意専心、教育行政の発展のために身を挺してまいる所存でございますので､何卒関係各位のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、衷心よりお願い申しあげます。

顧みれば平成１４年１０月１日初就任以来、今金小学校改築に伴い学区の保護者や自治会への説明と意見交換で地域の学校や子供に対する深い思いも理解でき、学校教育と生涯学習を含む社会教育の連携の必要性を感じたり、国際交流、体験ツアー、大学との交流、オリンピック選手の講演実技等々で子供たちが自ら目で学び実感し、新たな目標や希望を持つことが出来たと思ったり､いじめ､不登校､学力低下､特別支援などを現場の教職員と胸襟を開き忌憚のない意見交換も子供、保護者、先生と各々の苦労や課題の解決に努力している姿や配慮を実感したり、ブックンや読み聞かせによる図書の充実と普及も大切なことだと感じたり、食育も栄養教諭の配置による食事への理解、給食の充実、生産者との連携も定着しつつと思う、翌年度予算査定まえの教育委員会事業の目的、内容、時期、予算、成果の点検等をしますが事務方の能力と苦労が目に見えるようです。また、仮称認定こども園いまかね、学童保育も今後教育委員会が所管することとなり、乳幼児から中学校まで子供たちの教育、特別支援教育の一環した支援が確立し、点が線になるよう期待します。



特に、教育委員会外部評価委員による点検、評価、助言、懇談等では、時には手厳しい意見や叱咤も真摯に承ける場面も有り、外部評価委員の方々の教育に対しての情熱や意識の深さが感じられます。以上過去８年間の主な回顧と思い出話になりましたが、教育長、委員長の力強い指導力、同僚委員の的確な判断と実行力、指導主事の助言等により無事大過なく責務を全う出来たことに敬意を表し感謝いたします。さらに、委員によるリレー寄稿は、感性､思考､発想､表現力等の自己研鑽でもあり良いことだと思う。(本音は大変負担で・・・。)





昨今は、全国学力学習状況テストの結果、「ゆとり」から「学力」へと変化していることは確かだと思いますが、教科書や問題集を暗記してテストで高得点を得ることが全て優秀な人、人格者だと思いません。私は教育の目標は「人格の形成」と考えています。智慧（ちえ）と心と身体がバランス良く整えることが大切だと思います。知恵知識が無ければ、思考、判断、表現力が機能しません。第一に学力の向上を望みます。基礎知識が欠落しているならば引き上げる為に学習や指導方法を学校の連携や教員と保護者が一体となって考える時と思います。



再任にあたり、私の思いを乱文ながら綴りました笑読してください。今後ともご指導ご鞭撻を重ねてお願い申し上げます。

9月28日開催の今金町定例町議会において今金町教育委員会委員に平井祥元氏（60歳）の再任が同意されました。任期は4年（平成22年10月1日から平成26年9月30日）で3期目の就任となります。